

1 性犯罪・性暴力の被害者が相談をしやすい環境の整備

1) 全国共通番号「#8891」(はやくワンストップ)の運用

(最寄りの「性犯罪・性暴力のためのワンストップ支援センター」につながる全国共通ダイヤル)

- 令和2年10月 運用を開始。「女性に対する暴力をなくす運動」等を通じて周知
- 令和4年11月 相談者からの通話料を無料化



2) 24時間365日対応の推進

- 「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」により、ワンストップ支援センターにおける24時間365日対応の取組を支援
- 令和3年10月「性暴力被害者のための夜間休日コールセンター」を設置。

それまで夜間休日対応をしていなかったワンストップ支援センターと連携して被害者を支援

3) 多様な相談方法の提供

- ワンストップ支援センターにおける多様な相談者への対応に係る取組(メール・SNS相談・オンライン面談等)を「性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金」により推進
- 「性暴力に関するSNS相談Cure time(キュアタイム)」(内閣府委託事業)の対応について令和4年度から365日に拡充、メール相談を開始



2 ワンストップ支援センターにおける支援の充実

1) 性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金（令和4年度：4.5億円）

- 都道府県等が設置するワンストップ支援センターに対し、運営経費、医療費等の公費負担に要する経費等を支援
- 令和2年12月 被害者が所在する都道府県以外における急性期の医療機関の受診も医療費支援の対象とすることについて通知を発出
- 子供が性被害を受けたケースにおける監護者に対する精神的ケアの提供を支援
- 令和4年度～ 都道府県に加え、政令指定都市と中核市を交付対象とする

2) 多様な被害者支援の充実

- 令和4年6月 障害者、男性等を対象とした支援事例集を作成しワンストップ支援センター及び関係省庁に共有
- ワンストップ支援センターの相談員、センター長及びコーディネーター、行政職員、医療関係者（公認心理師を含む）を対象とした研修教材を作成・提供するとともに、オンライン研修を実施（予定）

3 社会全体への啓発

1) 若年層の性暴力被害予防月間（毎年4月）

- ポスター、リーフレット、啓発動画の作成
- 若年層に向けて、SNS及びトレインチャンネル等を活用した広報活動

2) 女性に対する暴力をなくす運動（毎年11月12日から25日までの2週間）

- 「性暴力を、なくそう」というメッセージを内閣府特命担当大臣（男女共同参画）から発出
- ポスター、リーフレットの作成、SNS等を活用した広報・啓発の実施
- 全都道府県でパープル・ライトアップを実施

3) AV出演被害防止・救済法に係る広報の実施

- ターゲティング広告やSNSの活用、広報カード、ステッカーの作成・配付等を通じ、法制度や相談先（性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター）の広報・周知を推進



4 調査・研究の実施

1) 性暴力被害の実態把握

○令和2年3月「男女間における暴力に関する暴力調査」を公表（次回は令和5年度に実施予定）

○令和4年6月「若年層の性暴力被害の実態に関するオンラインアンケート及びヒアリング」報告書を公表

- ・若年層（16～24歳）の約4人に1人が「何らかの性暴力被害」にあったことがあると回答
- ・言葉による性暴力被害が17.8%、身体接触を伴う性暴力被害が12.4%、情報ツールを用いた性暴力被害が9.7%。
性交を伴う性暴力被害は4.1%

2) ワンストップ支援センターにおける支援状況の調査

○令和4年12月～ ワンストップ支援センターを対象とした支援状況等調査を実施

性犯罪・性暴力被害相談体制の拡充

ワンストップ支援センター
全国共通短縮番号(R2.10/1~)



「#8891」
(はやくワンストップ)

性暴力被害者のための
夜間休日コールセンター(R3.10/1~)

性犯罪・性暴力の夜間の相談や緊急対応のため、これまで夜間休日には対応していないワンストップ支援センターの運営時間外に、被害者からの相談を受け付け、ワンストップ支援センターと連携して、支援を実施

性暴力に関するSNS相談
「キュアタイム」

R2.10/2~



キュアタイム

検索

令和4年度「女性に対する暴力をなくす運動」の主な取組について

政府では、毎年11月12日から11月25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間、関係団体との連携、協力の下、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化するための広報活動を実施。（平成13年6月5日男女共同参画推進本部決定）

潜在化しやすい女性に対する暴力の問題に対し、社会の意識を喚起するとともに、女性の人権尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることにより、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発を強力に推進する。

今年のテーマは「性暴力を、なくそう」。

○ 啓発物の作成・配布（ポスター・リーフレット・カード・シール・パープルリボンバッジ）

「性暴力をなくす」という社会の意識の醸成と相談窓口の周知を図る啓発物を全国の自治体、関係機関・団体、公立図書館等に配布。



<パープルリボンバッジ>



<啓発カード>



<啓発シール>



<リーフレット>



<ポスター>

○ 大臣メッセージ動画の発信

○ 全閣僚による運動期間中のパープルリボンバッジの着用

○ パープル・ライトアップ

東京スカイツリー、迎賓館赤坂離宮などのランドマーク等を女性に対する暴力の根絶のシンボルカラーである紫色にライトアップするパープル・ライトアップを実施。

○ 企業との連携

御賛同企業による、パープルライトアップやSNS等での広報・啓発、役員等のパープルリボン着用を依頼。



<令和3年度ライトアップ写真>

若年層を対象とした性的な暴力の根絶

● 若年層の性暴力被害予防月間

【期間】 毎年 4 月

【目的】

これまでのAV出演被害やJKビジネスなどの問題の更なる啓発に加え、深刻化しているレイプドラッグの問題、酩酊状態に乗じた性的行為の問題、SNS利用に起因する性被害、セクシュアルハラスメント、痴漢等、若年層の様々な性暴力被害の予防啓発や性暴力被害に関する相談先の周知、周りからの声掛けの必要性などの啓発を行い、若年層が性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないことの啓発を徹底する。

【主な実施事項】

令和4年の月間においては、同年4月からの成年年齢の18歳への引下げを受け、契約に関する注意喚起等、積極的な広報・啓発を実施。

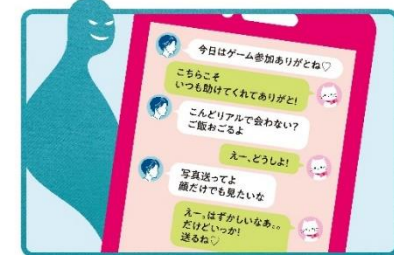
- (1) ポスター、リーフレットの作成・配布、テレビ、ラジオ、インターネット等のメディアを利用した広報活動
- (2) インフルエンサーや有識者と協働したオンラインイベントの実施
- (3) SNSやトレインチャンネル等を活用した広報

若年層の性暴力被害
予防月間
ホームページ



https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/jakunengekkan/index.html

怖いくらい、やさしい人だった。
会ってみたら、ほんとに怖かった。



加害者の人...そんなつもりなかったのに...
**あなたが望まない性的な行為は
どんな理由・相手でも性暴力です!**

18歳になったら契約は慎重に!
2022年4月1日より
成年年齢が引き下げられました

18歳
20歳



<令和4年度ポスター・リーフレット>

令和4年度 配偶者暴力(DV)加害者プログラム試行実施について【概要】

経緯

- 配偶者暴力防止法第25条において、国及び地方公共団体は、加害者の更生のための指導の方法に関する調査研究の推進に努めることとされている。
- 令和元年6月に公布された児童福祉法等の一部改正法の附則において、施行後3年を目途に、配偶者からの暴力に係る加害者の地域社会における更生のための指導及び支援の在り方について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとすると規定された（附則第8条第2項）。
- 女性版 骨太の方針2022においては、被害者支援の一環として、令和4年度に策定した『試行のための留意事項』を踏まえて追加的に加害者プログラムを試行実施し、その成果の検証に基づき『本格実施のための留意事項（仮称）』を策定するとされている。

令和3年度試行実施（結果）

広島県、熊本県、長崎県の3地方公共団体に増やし、試行的に加害者プログラムを実施した。

その中で、多機関をつなぐケースワーカーの配置等、機関同士の情報連携の在り方についても検討を進めた。その結果等を踏まえ、地方公共団体で活用可能な『試行のための留意事項』を策定した。

令和4年度試行実施（概要）

『試行のための留意事項』を踏まえ、追加的に2地域で試行実施し、前年度までの課題の検討を進めるとともに、『本格実施のための留意事項（仮称）』を策定する予定。

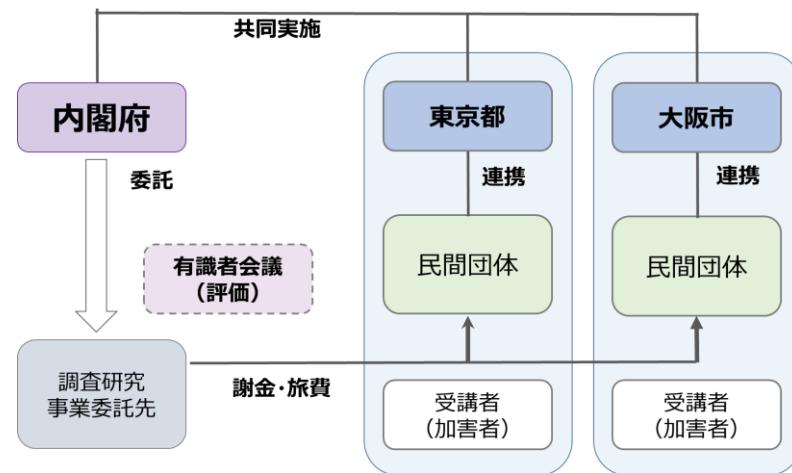
実施スケジュール（予定）

令和4年9月

～令和5年2月 東京都及び大阪市での試行実施

令和5年3月 「本格実施のための留意事項（仮称）」策定

試行実施のスキーム（2地方公共団体）



都道府県の主な業務

- ・実施団体の決定・実施内容の相談
- ・会場の確保
- ・受講者（加害者）への案内
- ・関係機関との連携・情報共有
- ・被害者支援（配暴センター等）

実施団体の主な業務

- ・受講者受付
- ・事前面接
- ・プログラム実施
- ・参加料徴収
- ・受講者等アンケート